

2011年度 平成23年度活動報告書

Annual Report 2011 2011.4~2012.3

事業の次段階へ向けて調査や評価、準備がなされました。
成果に向けて動き出す分岐点の年でした。

◆ 東日本大震災復興支援活動に注力いたしました。

2011年3月11日の大震災は地球市民の会にとっても関係のないことではありませんでした。2008年のミャンマーサイクロン災害の時には多くの方に支援をしていただきました。日本で災害が発生した場合も国際ボランティア団体として支援活動をするのは、存在意義そのものであるということだからです。とはいえ、東北から遠く離れた佐賀で市民団体に何が出来るかという非常に難しいことでしたが、佐賀県のような団体・人・企業や地球市民の会の会員さんをつなげることで、被災地に近い東京などの組織とは違う、独特の支援活動が展開されました。約1200万円の資金をお預かりし、本年度は1000万円強の事業を実施しました。

◆ ミャンマーで農業灌漑用の堰（小さなダム）を整備しました。

ミャンマーの南シャン州タンテ村で農業灌漑用の堰を整備中です。約2キロにわたるこの堰は50年ほど前に国の事業として作られましたが、その後大規模の修理もされなかったため十分に機能せず、この農業用水を使う280世帯弱の農家に甚大な影響を及ぼしておりました。地球市民の会といっしょに仕事をするミャンマー政府国境開発省からの要請も有り、整備事業を外務省のNGO連携無償資金を活用し実施しています。平成24年6月に完成予定です。多くの貧困農家に希望の灯りが点されます。総事業費は4640万円です。

◆ タイ事業・ミャンマー事業の中間評価を実施しました。

25年続くタイの奨学金事業、11年を越えるミャンマーのタンボジ研修センター事業の中間評価を国際協力機構（JICA）のNGO人材育成研修で実施しました。それぞれの問題点、新しいニーズなどを洗い出し、より良い事業にするために検討が重ねられました。地球市民の会にとって、本格的な評価手法を用いた評価で、今後の事業のよりよく進めていく機会となりました。

◆ 中山間地元気再生事業、パイロット事業が2つ進行

過疎が進む富士町において、地元に住む若者たちが、自分たちで地域を活性化しようとした任意団体「ベジボーイズ」が地球市民の会の働きがけで実現しました。また、韓国と日本の大学生が中山間地の村にホームステイをする新カチガラス計画、都市部と中山間地の集落の方々の交流プログラムなどを実施しました。

◆ ASC2008 実施事業者のマークを取得しました。

認定NPO法人国際協力NGOセンターから、事業所内の説明責任（アカウントビリティ）・組織統治（ガバナンス）や法令遵守（コンプライアンス）を会員や寄付者など利害関係者に対して明示するための41項目の行動基準に従い活動する努力を行っている組織と認定され、マークを取得しました。

活動方針

事業評価体制の強化と PDCA サイクルの活用

タイの奨学金、ミャンマーのタンボジ運営事業等、個々の事業での評価を実施しました。しかし、組織全体として取り組む仕組みまで高めることは出来ませんでした。PDCA サイクルも実際のアクションまで達せずにあります。事業の適時評価など、今後の課題として残りました。

特別支援活動

東日本大震災復興支援事業

全国でも珍しい独特な活動が実施されました。反面、地球市民の会の体力もかなりの量投入することとなり、予定していた従来事業に影響が出ました。しかし、このようなときにこそ理屈抜きに動ける組織であることは地球市民の会の存在価値そのものでもあるといえます。

重点活動

- 1、 3カ年計画の中間評価
実施しましたが、十分な成果を見出せませんでした。再度、3カ年計画の立て方を検討する必要があります。
- 2、 資金調達委員会の機能強化
十分に機能しませんでした。次年度に持ち越し取り組みます。
- 3、 広報機能の充実・強化
ホームページのリニューアルが進みませんでした。地球市民の会のフェイスブックページを開設しましたが、十分に活用できていません。
- 4、 ポストミャンマー事業の検討
ラオスに事前調査に行きました。今後の事業立案につなげていきます。

事業別重点活動

ミャンマー事業重点事項

ミャンマー政府との同意書 (MOA) の延長と JICA 草の根パートナー事業の協約書 (Minutes) の締結
3月の末にすべてが整い、1年半の交渉が結実いたしました。いよいよ事業開始です。

タイ事業重点事項

タイ教育基金の持続発展事業への展開

タイでの打ち合わせを重ね、ボーグゥ学校で実施されました。

スリランカ事業重点事項

スリランカ事業の計画再構築の検討

奨学金の日本-スリランカの交流事業の強化が合意され、次年度に実施し、隔年スリランカから高校生を招聘することとなりました。

中山間地元気再生事業重点

パイロット事業の立ち上げと継続的財源の確保

2つのパイロット事業は実施したが継続的財源を確保できるような事業には拡がらず、次年度以降の財源という課題を残すこととなりました。

平成23年度事業報告概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲、人数	支出額(千円)
国内事業	中山間地元気再生事業	通年	佐賀市富士町・三瀬	2人	佐賀市富士町・三瀬の住民延べ300名	1,621
	国際ふれあいフェスタ	9月19日	アバンセ	5人	来場者 約300名	5
	講師派遣事業	通年	佐賀県及び福岡県、その他	5人	一般聴講者 2500名	272
	ピカプロ	年3回	佐賀市内	5人	佐賀市民180人	100
	ラオスプロジェクト立案調査	通年	ラオス南部三県	2人		809
	物販販売	通年	佐賀事務所	3人	会員 12名	40
	小計					2,848
奨学金事業	タイ地球市民奨学金支給	12月	クーキャオ校、ボーゲウ校	2人	タイ人受給生徒255名 里親 178名	1,464
	スリランカシヨダヤ奨学金支給	5月/2月	サンガミッタ女子校	2人	スリランカ人受給生15名 里親 15名	245
	タイスタディーツアー (GTS、チャリティーショップ支援地視察)	8月/12月	クーキャオ、ボーゲウ	2人	日本人参加者55名、 クーキャオ校・ボーゲウ校の生徒及び教師、地域住人	612
	奨学金調査費(タイ語手紙翻訳)	通年	スイさんに依頼	1人	クーキャオ・ボーゲウ校生徒及び住民	109
	タイ自立発展事業(学校農園プロジェクト)	1月	ボーゲウ校	54人	ボーゲウ校の生徒及び教師250名、地域住人里親会員11名、会員外の方 53名	208
	小計					2,638
ミャンマー事業	タンボジ青少年育成プログラム	通年	タンボジ農業畜産研修センター(卒寮寮)	12人	16名+家族や村の人	537
	タンテ地域農業環境整備(NGO連携無償資金協力)	8月～2012年6月	ニャウンシュエ、タンテ村郡	4人	地域住民 2,440名	27,692
	教育支援)ナーリー村保育園建設	通年	ナーリー村	5人	20名+家族や村の人	1,054
	教育支援)ティープー村小学校建設	6月～3月	ティープー村	5人	30名+家族や村の人	
	インレー湖流域の自然資源活用による環境改善プロジェクト	通年	インレー湖、周辺村4カ村	5人	3000名+インレー湖を利用する人	6,011
	循環型農業7日間研修	年間5回	ナウンカ地域開発センター	11人	7日間研修参加者、	1,600
	緑の募金)カンタン村緑化事業	～2011年6月	カンタン村	6人	村人2000名	
	緑の募金)ルエトー村植林事業	2011年7月～	ルエトー村	5人	500名	804
	自然を愛する若手リーダー育成	通年	タンボジ	12人	16名+家族や村の人	1,260
	ナウンシン・ハムシー給水事業	2011年12月～	ナウンシン、ハムシー高校	5人	700名	990
	JA)小規模銀行事業	2012年5月～	セレー、ナウンカ、ハムシー、カックー地区の小規模銀行実施村	7人	給水:4村、1500名、共同農園支援:15村、1500名(予定)	1,171
	スタディツアー	6月、9月、3月	タウンジー周辺地域	4人	10名	30
	その他の事業					4,884
ミャンマー事業費繰入損					46,038	
	小計					1,052
韓国事業	新かちがらす 日韓青少年交流	8月22日～29日	佐賀市富士町大串集落	8人	韓人大学生、日本人大学生、HF、計70人	1,052
	小計					1,052
東日本大震災支援事業	佐賀からサポートP	通年	ガスボンベ、土嚢袋、髭剃り、文房具、あしなが育英基金レインボーハウス建設基金	5人	相馬市、気仙沼など	1,118
	想いのPFP	通年	デジタルサイネージ、ホームページ開設	1人	佐賀市役所、県庁、ホームページの閲覧者	798
	いのちの祭りP	通年	石巻ドリームアート、天山夢まつり、東松島市夢ハンカチイベント、富士夢まつり	3人	イベント、夢ハンカチに参加された方々30000人	2,347
	ハッピーストックP	通年	子供用歯ブラシ、お絵かき帳、Tシャツ、雑巾、絵葉書、毛布など	3人	仙台、石巻、気仙沼、塩釜など支援物資を受け取った方3000人	772
	よかとこ佐賀P	通年	福島県民交流の集い、いも煮会、タクシー事業	2人	参加人数述べ200人、タクシー45件利用者	341
	見える気持ちP	6月、7月	アバンセチャリティLIVE、新聞紙面展	3人	LIVE来場者300人、アバンセ利用者	132
	出番だP	通年	被災地へ短期・長期調査員を派遣、支援先への訪問ツアー	2人	福島県いわき市、石巻、気仙沼、山元、東松島など	2,058
	古湯音楽祭P	9月10日	古湯の森音楽祭(フォレストふ)	2人	来場者200人	300
	だいでんいっしょP	通年	チャリティーパフォーマンス12回公演(アバンセ、佐賀市文化会館など)	5人	来場者12回計3560人	508
	3・11イベント	3月11日	東日本大震災から1年チャリティーコンサート	8人	来場者5000人	578
		小計				



2011 年度、そしてこれからのミャンマー事業・・・

ミャンマーにとって激動の 2011 年度、TPA にとっても実り多き 1 年になりました。こうして振り返ってみると多くの方々のご協力の下、様々な事業を実施することができました。皆様、本当にありがとうございました。

2003 年からミャンマーで活動を始めて 8 年。この中で感じることは、「先人のご苦勞、ご協力が花を開きつつある」ということです。その中の 1 つとして、上記のように循環型農業研修参加者が 1,000 名を超えました。循環型農業研修は、TPA の事業が始まる以前の 2000 年から始まり、11 年間途切れることなく続けられている研修です。まさに、「継続は力なり」で、これは今後ミャンマーの農業に影響を与える、大きな力になると思います。同じく 2000 年から運営されてきたタンボジ農業畜産研修センターも、自立を目標とし、OB・OG 達が力を合わせて、交配の育成にあたらうと立ち上がりつつあります。

このように、私たちが行っているミャンマー事業は、このような地道な積み上げで実施・運営できているのだと思います。2011 年度に実施した数々の事業も、長い時間をかけて村や住民の皆さんと築いてきた信頼関係がなければ実施できませんでした。先人のご苦勞に感謝しつつ、それを無駄にしないよう、今後とも努力していきたいと思ひます。

今後、ミャンマーは大きく変わっていくことと思ひます。しかし、ミャンマーは国民の 70% 以上が農業に従事する農業国であり、農民が本当の主役であることは間違いありません。ミャンマー事業は 3 年間で実施する JICA 事業を軸として、本当の意味での農民生活の向上を目指して努力を続けたいと思ひています。
(プロジェクトマネージャー柴田京子)

活動状況

<循環型農畜産業技術の普及>

●循環型農業研修●

ナウンカセンター循環型農業 7 日間研修は 6 回実施、参加人数は 102 名。今までの研修参加累計人数は 1047 名にのぼります。今年、シヤン民族自治組織と協力し、TPA が活動できない奥地の村からの参加者をたくさん呼ぶことができました。研修参加者は、研修後には循環型農業の技術を村の人たちに伝えています。今年からは新しくキノコ栽培を研修内容に加え、研修内容の充実を図っています。



循環型農業 7 日間研修の修了者

●ナウンカ地域開発センター●

ナウンカセンターは自立運営の実現を目指して努力を始めました。販売用のアボガドの苗やみかんの苗を育てたり、3 年後の収穫を目指してライムの苗をたくさん植えたりしています。健康に良いヤーコン茶は、ヤンゴンの消費者に大人気です。センターの土はまだまだ悪く、野菜の栽培には苦勞していますが、これから 3 年間で自立ができるように努力していきます。

<環境保護事業>

●インレー湖循環化事業●

山からの土壌流出による水位の低下、浮き畑での農薬の多投による水質汚染などの問題を抱えるインレー湖。本事業では佐賀大学・五十嵐准教授指導の下、水草を使った堆肥による循環型農業普及と、植林を 3 ヶ年計画で進めています。昨年は 4 村において 2 万本の植林や循環型農業の研修や指導者を育成するための研修等行いました。環境セミナーも 3 回実施し、日本人専門家によるワークショップも行いました。また、インレー湖の水源地帯であるレーエイゴン村ではアグロフォレストリーによる植林を実施し、村人の生活と環境保全を両立させる取り組みを行っています。

(助成：地球環境基金 440 万円)



ルエトー村環境教育セミナー

●ルエトー村緑化事業●2011年7月～2012年6月(継続中)
ルエトー村において、水源涵養のための植林と、子ども達に木の重要性を理解してもらうための学校林の造成事業を行っています。また、この地域では乾季に山焼きを行い、新しい木の芽を焼いてしまうため、山焼きの防止も行います。これまで村人や子供たち対象に研修を実施し、木の重要性や山焼きの危険性を教えました。ルエトー村が植林を希望し始めたのは3年前で、やっと植林ができるようになったので、村の人たちはとても喜んでます。現在は苗つくりのために水を引く作業の真っ最中です。6月後半ごろに13,000本の植林を実施する予定です。(助成：みどりの募金160万円)

<地域開発支援>

NEW

●タンテ堰建設事業●

タンテ地域にある農業用堰は、堰の高さが足りず、破損も多いことから、雨季には周囲の田畑を浸水させ、乾季には十分に貯水できず配水できないといった問題がありました。今回堰を整備し、地域の十分な田畑に年間通して配水できるようにすると同時に、循環型農業を広め、農業収入の向上をはかり、地域の生活水準を改善しようとしています。堰の修理はおおむね順調に進んでおり、5月末には完成する予定です。農業研修は6回実施、200名の参加がありました。循環型農業に興味を持つ農家の中には、すでにたくさん土着菌堆肥を作り始めている農家もいます。農民の農業環境・生活向上を目指して頑張ります!

(助成：外務省日本NGO連携無償資金協力)

<人材育成・教育支援>

●タンボジ青少年育成センター●

タンボジサポーターの皆さまに支えていただき、2011年は8名が卒業し、タンボジ卒業生は81人となりました。またJICA組織強化を利用し、国内担当の藤瀬が1月に本事業の評価を実施。卒業生のモニタリング等を行いました。(支援：タンボジサポーター、公益信託アドラ国際援助基金)

●保育園建設支援●

以下の3園の支援を行いました。建設だけにとどまらず、支援者の方に来ていただき交流等行っていました。

- ・ナーリー村保育園建設(～2012年)
(支援：保育園ひなた村自然塾様)
- ・ユワマ保育園、カンボー保育園建設
(支援：NPO日本ミャンマー豊友会様)

NEW

●ティープー小学校建設●

山の上に位置するティープー村には、傾きかけた竹製の粗末な小学校がありましたが、教育環境改善のため、助成をいただき改築しました。同時に村では村人みんなでアボガドの植林を行いました。将来は果実を売り、孤児等の奨学金を創設する予定です。

(助成：地球市民財団様)



ティープー村での農業研修

<文化交流事業>



「学校をつくろう」ツアーの様子

●スタディーツアー実施・受け入れ●

昨年はTPA ツアーを2回実施、9名がミャンマーを訪れました。6月には環境教育ワークショップを山口ミャンマー委員長とともに行いました。3月のツアーでは全国から参加した7名の参加者が帰国後、交流したカンカウン準中学校の建設プロジェクトを立ち上げるなど、国際協力に挑戦する第一歩となるツアーとなりました。(※)

鹿児島大学、佐賀大学の研修受入、豊友会さま、ひなた村さま、JAグループ佐賀さまの視察も例年通り実施しました。(※詳細はFacebookのページをご覧ください。

<http://www.facebook.com/#!/kankaun.school>)

【タイ事業】

●地球市民奨学金支給●

《奨学金支給》

支給先：ウドンタニ県クーキャオ校
カラシン県ボーグウ校

支給奨学生数：255名

里親会員：195名

1991年～2011年で奨学金受給者 3,398名



《元奨学生たちとの出会い》

今年は、元奨学生たちに会う機会を多く持ちました。22年間の歴史。活動開始当初の奨学生たちは、立派な大人になり、家庭を持つ人、米つきりをしている人、先生として母校で活躍している人…様々な人生を歩んでいます。



共通していたのは、里親さん達への「ありがとう」の気持ちを、それぞれのカタチで、地域や次世代に還元していることでした。

●さとおやの集い● (7月23日(土)・12月3日・12月10日(土) 佐賀市内で開催)

里親会員の交流、国際理解教育を目的とした集いを実施しました。「里子達に手紙を書こう！」絵手紙の会(夏・冬)やタイ洪水支援タイ料理教室、計3回を開催。



64名(うち会員11名)の方が参加して下さいました。



佐賀大学の留学生を通して、国際交流に興味のある学生や市民の方々との新しい出会いがありました。地球市民の輪が広がりました。

●スタディーツアー●

2011年度は、多くの方々に、ウドンタニ県・カラシン県を訪問して頂き、タイのこと、地球市民の会の活動を知って頂く機会となりました。

《GTSプログラム 8月24日～8月28日》

青年会議所主催で、「世界を意識しながら、地域に貢献できる人材を育てたい」とウドンタニ県で訪問プログラムを実施しました。



九州全土から53名が参加。ホームステイや文化交流、うどん打ち、記念植樹、タイの文化体験などを実施。学校の先生、子ども達、地域の方々の温かい支えがあり、多くの学びや喜びの溢れたプログラムとなりました。



《活動地訪問ツアー 12月12日～12月17日》

里親会員2名、事務局2名、計4名で渡航。里子との対面、学校訪問、ホームステイ、文化交流などを体験。

また、現地NGO活動地視察、元奨学生達との交流、女性グループとの交流を実施し、タイでの新しい繋がりもできました。里親の皆さんの思いが、タイの里子たち、地域の人々を支えていると感じました。(助成：佐賀県県民グループ派遣・招へい事業 39万円)





●チャリティーショップ事業●

チャリティーショップ「ぼーん・たわん」。タイの子ども達の教育環境改善を目指し、ご寄付頂いた洋服・服飾雑貨を販売しています。2年目を迎え、より多くの方々からのご協力、ご支援、励ましの言葉を頂きながら、活動を広げていくことができました。

《ボランティアグループ誕生》

4月、地球市民の会2階にボランティアルーム誕生。月2回ボランティアさんが活動を行ってきました。



知人への寄付呼びかけや活動の楽しさアピール等、積極的に取組み、新しい仲間を迎えることができました。

《活動をアピール》

フリーマーケットや地域のお祭りで、出張出店させて頂きました。

他の出店者の方や買い物客の方に活動を知って頂く機会ができました。

《更に大きく、企業協働の輪》

チャリティーショップOPENから、ご協力頂いている(有)ニューポーン新古賀さま(売場提供)、小松商店金属部さま(寄付品管理)、佐賀広告センターさま(広報担当)。2011年は、更なる企業協働の広がりがありました。



損保ジャパン佐賀コールセンターさまによる、寄付品BOXの社内常設。

2011年4月～2012年3月

- ◆寄付点数：203点
- ◆寄付者数：26名
- ◆ボランティア参加者：10名
- ◆売上：248,090円

《チャリティーショップが教育支援へ》

2012年1月、カラシン県ボーゲウ校。地域で子ども達の教育環境を支えることを目指した「学校農園プロジェクト」が始動。売上234,600円が充てられました。

精米機を設置、利用手数料や精米したお米の販売から、子ども達へ奨学金支給をします。



佐賀の活動から、タイの活動へ…カタチとなり、「思いやり」を繋ぐことができました。

《これからの活動》

2012年は、「アジアの子ども達のため」と支援活動の範囲を広げ、引続き「身近にできる国際協力」として取組んで参ります。

活動を通して、佐賀とアジアを結ぶ「思いやり」の心を育んでいきたいです



【スリランカ事業】

●シショダヤ奨学金●

支給先：ゴール市・サンガミッタ女子校
支給奨学生数：15名
里親会員：13名



1998年～2011年で奨学金受給者90名

元奨学生の多くは、医師・教師・役人としてスリランカで活躍しています。国のため地域のため人のためにとこの気持ちを強く持っています。

2011年は、『日本とスリランカの架け橋となる人をより多く育てていきたい』その想いで、スリランカ現地と話し合いを重ねてきました。

2012年、奨学金受給者の拡大、スリランカ高校生の招へいプログラムを取組みます。

2011年、里親の皆さんを始めとして多くの方々からのご支援と温かい想いに支えられて、タイとスリランカの子ども達へ「学ぶ喜び」を届けることができました。同時に、彼らの心のなかに、「自分たちで、地域の子ども達を支えていこう」という想いも、確かに育まれてきました。

これからの活動では、そんな彼らの想いを応援できるような活動づくりを意識しながら、日本とタイ、スリランカ、共に学び共に成長できるような活動をつくっていききたいと思います。

年間事業(2011年4月~2012年3月)

2011年4月	5月	6月	7月	8月	9月
				★新かちがらす (富士町)	★ふれあいフェスタ
10月	11月	12月	2012年1月	2月	3月
				新かちがらす (釜山)	

◆ふれあいフェスタ(9月19日)

さが国際ふれあいフェスタに参加しました。地球市民の会では「アジアンシアター&カフェ」と題して、フェアトレードコーヒーやタイ・ミャンマーのお茶・お菓子を食べながらミャンマーの写真や映像を楽しんでもらいました。90名以上のお客様に来てもらい収益はタイ・ミャンマーの子どもたちの教育、生活環境改善に使われました。



◆新かちがらす IN 富士町大串集落

昨年に続いて、2011年8月に日韓の大学生の交流を行いました。今年も日韓大学生20名が、日韓共通の問題でもある「過疎化」について学びあいました。7泊8日の日程で地元の人と交流を行いました。ホームステイや農業体験、地元の幼稚園での交流を行いました。集落からも多くの人のご協力を得て、最後は涙ありの交流会ができました！



◆新かちがらす IN 釜山



2月25日(土)~3月1日(木)まで釜山で新かちがらすを行いました。日本からは6名の大学生が参加し、釜山の田舎で韓国の学生と一緒にホームステイや田舎体験を行いました。日韓でお互いの国で行われている地域づくりを事前に調べて発表しました。初めて、国際交流をする学生も多く、お互いの文化を認識し、理解する機会となりました。

通年事業

- ①(株)ミズとのRTMほっとかれんもんプロジェクト(講師派遣事業)
- ②佐賀市市民活動推進課と佐賀の演劇人との協働事業の「協働」おもしろ大百科
- ③ドリームパーク(学童保育への講師派遣事業)
- ④CSO学院(CSOの組織力と人材育成を目的に県との協働事業)

◆2012年の事業も精力的に行っていきます！

2011年度も大学生・ボランティアが多く、地球市民の会の活動を多くの方に認識してもらうことができました。ただ、広報は相変わらず大きな課題であり、一般の方の参加が少ないのが現状です。2012年は会員の皆さまにもっと気軽にご参加できる事業やイベントを行なっていきます。2012年もご支援よろしくお願ひ致します。



【活動報告】

TPA は 2009 年より佐賀市富士町、三瀬、大和町松梅地区で活動を行なってきました。地域の行事に参加し、農林業のお手伝いをして人間関係を構築していく中で、地域の方からの現状や問題点を聞くことができました。それから、地域の方々と話を進めていく中で、23 年度は 3 つの集落で取り組みを行いました。

<循環型地域づくり事業>

富士町 上合瀬集落

集落の若者が中心となり、「ベジボーイズ」を結成しました。毎月、話し合いを重ねて、自治会はじめ集落の子どもから年長者まですべての世代と関わりをもつ複数の取組みを実施しました。

●地域貢献事業●

・地域におけるニーズや課題に対応するための事業を実施しました。草刈り事業や集落内の耕作放棄地開墾事業が行われ、高齢者の負担軽減へとつながりました。

●交流事業●

・一般の参加者を募集し、米づくり事業が行われました。また、地域の方々と一緒に作物への感謝祭やキムチづくりを行いました。地域の方々の集える交流の場所ができました。

【今後】

・年間を通した取組みは、地域への貢献を目的としたことから、集落からの信頼を得ることができました。特に、年長者が若者を応援協力するという形で、集落内の助け合いの循環がより一層活発となりました。今後は、地域の方々と連携を強化し、開墾した畑を活用して、コミュニティビジネスにつながる事業を実施します。



みんなで放棄地開墾中

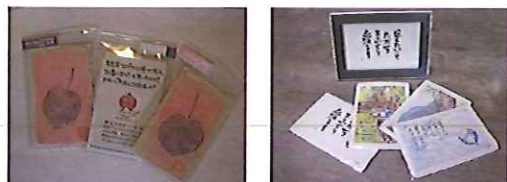


ベジボーイズを応援
してくれる方が増え
ました！

<古湯 PR 商品づくり事業>

富士町 古湯集落

古湯女将会、名尾和紙工房、移住者であるアーティストとの連携・協働により、名尾和紙を活用した、古湯を紹介する商品（はがき、しおり）を開発しました。



協働開発の「しおり」と「ハガキ」

<伝統技術による加工品づくり事業>

三瀬 中鶴集落

佐賀の農村部に伝わる地域農作物の加工品づくりの伝統技術や知恵が、伝承されず衰退している現状があった。問題意識をもっていた中ノ鶴集落の自治会と農家民宿が中心となり、農業体験・加工品などの伝統技術や知恵の伝承を全 5 回の事業として実施しました。



<今後の取り組み>

今後も、各集落への取り組みのサポートを行なっていきます。また、現在、富士町の高齢者率の高い集落で地域の方と一緒に畑を開墾し、「オーガニックコットン」を栽培しています。「農」を通した地域づくりを地域の方々と一緒になって継続していきます。たくさんの方が気軽に集える場所にしたいと思っています！会員の皆さまにもお気軽に参加してほしいです！



2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地復興のために何かやりたいという佐賀県民が集まり、情報交換などを行いながらつながりあえる場として「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」が4月に発足しました。それ以降、キャンペーンに参加するさまざまなプロジェクトが独自の目線で活動を行い、被災地に元気を届けています。①直接的な支援活動②被災地を忘れないために、佐賀でできること③佐賀に避難されている方へのサポートの3つに分けて報告いたします。

① 被災地への直接的な支援活動

■出番だ！プロジェクト

4月に社協と協働でボランティアバスを派遣し、福島県いわき市でがれき撤去の片づけを行いました。また、6月11日に長期・短期合わせて計3人を石巻、気仙沼など津波の被害が大きかった地域へ派遣。現状把握、ニーズ調査、ボランティア活動などを行い、今後のプロジェクトの立案などに役立てられています。



■ハッピーストックプロジェクト

女性の視点で、被災地の女性を支援するプロジェクト。石巻市みずほ幼稚園へお絵かき帳、石巻市立病院などに看護師さん支援のTシャツ、被災地の4家族を佐賀への招待、メッセージ入りの手縫い雑巾、800枚の

毛布の手配など、被災地で活動する女性と連絡を取り合い的確に支援物資を送り続けました。トクさのねプロジェクト(砂子啓子さん)との協働事業



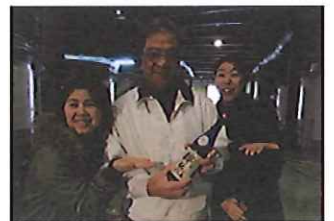
■いのちのまつりプロジェクト

毎月被災地を訪れ、「夢」とをハンカチに書いてもらい、前に向かって歩き出すきっかけにもらいたいと活動。石巻でのイベント東松島市でのイベントなど、被災地の方とともにイベントを行い世界中にハッピーニュースを発信しています。富士夢まつりの大志さんとの協働事業



■酒米プロジェクト

宮城県登米市の風評被害酒米を買い取り、天吹酒造さんで「福興酒 絆伝心」を作ってもらい売上げの一部を支援金へ。この



プロジェクトには天吹酒造のほかにも、お米の輸送に(株)トワードさん、瓶ラベルを名尾和紙さん、音成印刷さん、デザイナーの多良淳二さんなど大勢の方の協力がありました。



■佐賀からサポートプロジェクト

震災発生後、ガスボンベ、髭剃り、土嚢袋、文房具など現地のNPO・NGOと連携し物資を送りました。また、あしなが育英会「東北レインボーハウス」建設資金に寄付いたしました。



■佐賀の地から

実際に被災地を訪れ佐賀からできることは何かと模索した結果、現地で頑張るNPO・NGOを後方支援することで佐賀から支援を行うことをスタート。テラ・ルネッサンスの大槌町のプロジェクト支援として、

鬼丸氏の講演会、被災地の女性がつ作った商品を佐賀で販売する活動や被災地で活動するめ組JAPANの活動支援など、絞ったパートナー支援を実施しています。





② 被災地を忘れないために... 佐賀で支援活動

■だいでんいっしょプロジェクト

県内各地で月に1回のチャリティーパフォーマンスを繰り広げ、佐賀県内に被災地への想いを発信し続けました。3月31日には総集編として、11回分の感謝と支援継続をお願いする気持ちを込めて、弓削田健介さんやティーンズミュージカルなどの11組による心のこもった舞台が披露されました。これまで12回の参加人数は来場者・スタッフ合わせて4350人！いのちのまつりプロジェクトともコラボしています。



■エクレールお菓子放浪記上映会サポート

被災前の石巻で撮影が行われ、エキストラとして参加された多くのかたが被災されました。小城・佐賀市・吉野ヶ里・多久で上映会のサポートを行い、述べ2500人を動員。佐賀市と小城の上映会には主演の吉井君が登場し会場を沸かせました。



■古湯の森音楽祭

富士町で9月10日、チャリティーコンサートを行いました。佐賀の若手アーティストとともに、気仙沼出身の熊谷育美さんが登場。地元気仙沼の話を交えながら力強く、そして優しい歌声で来場した200名を魅了しました。また、この日は古湯温泉おかみセラピストのハンドマッサージも。



■アバンセチャリティLIVE

6月24日、木原慶吾さんを中心に千綿偉功やティーンズミュージカル SAGA など佐賀を代表するアーティストが集結。会場のアバンセに訪れた300人の来場者ともに佐賀から被災地へ音楽で元気を送りました。



■笑たま～smile+玉の緒プロジェクト

県内各地で被災地ボランティア経験者の報告会を実施。また、気仙沼で津波を経験されたお二人をおよびして講演会を実施し、津波の恐怖と被災地の復興への願いを共有しました。



■～笑いで元気を～チャリティー寄席

桂梅團治さん、橘家蔵之介さんのチャリティー落語会を開催。佐賀市にある「井内能舞台」を使用し、来場者200人が笑いに包まれました。



■見える気持ちプロジェクト

被災者に直接送るために時間がかかる義援金ではなく、必要なお金の寄付である支援金を「東日本大震災復興活動支援基金」として募集し、その運用を寄付者にWEBサイト等で報告しています。



■想いのフラットフォームプロジェクト

佐賀電算センター・佐賀IDC・STSプロジェクトとの協働事業。当キャンペーンのホームページ作成と県庁、市役所にデジタルサイネージを設置し、県民に広く震災についての情報を発信しています。



③佐賀に避難して来られた方へのサポート

■よかとこ佐賀プロジェクト

東日本大震災によって佐賀へ避難して来られた方へサポートしています。佐賀市内に避難された方を対象に昨年9月まで無料タクシーサービスを行いました。また、発起人の佐賀大学五十嵐先生とともに福島県民交流の集いをこれまでに計5回開催しました。10月には東北名物芋煮会も開催し、参加人数はこれまでに延べ200人を超えています。



決算報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

目次

◆財務分析と課題	-P13
◆平成 23 年度貸借対照表	-P14
◆5 期連続貸借対照表	-P15
◆平成 23 年度収支計算表	-P16
◆5 期連続収支計算表	-P17
◆財産目録	-P18
◆ミャンマードル会計 貸借対照表、収支計算書	-P19
◆ミャンマーチャット会計 貸借対照表、収支計算書	-P20
◆ミャンマードル・チャット会計財産目録	-P21
◆監査報告	-P22

認定 NPO 法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

～地球市民の会の健康状態（貸借対照表から）～

- 外務省の NGO 連携無償資金が年度をまたぐため一時的にキャッシュが大きくなっています。
 普通預金に 3300 万円の現金がありますが外務省の NGO 連携無償で実施しているミャンマーのタンテ堰整備事業の資金 4600 万円の残高がほとんどで、次年度 4 月にすぐに 1200 万円ミャンマーに送金し、残金も次年度前半に送金されます。1200 万円は未払い金に計上されています。未払い金には東日本大震災の支援にかかる資金の計上が 280 万円あります。それぞれ 4 月に支出されています。正味財産は 1150 万円ありますが、ミャンマーに送金される予定の金額とほぼ同額です。

～地球市民の会の経営健全度（収支計算書から）～

- 過去最高の収入を昨年に引き続き連続で達成しました。
 本年度も収入の約半分を外務省の NGO 連携無償資金で計上しています。本年度は 2 キロに及ぶ農業灌漑用の堰と水を供給する水路の整備という大きな事業で 4640 万円の資金を外務省からお預かりしました。また、東日本大震災の支援事業があり、1200 万円の御浄財を預かりました。そのため、9000 万円を超える収入となりました。地球市民の会にとって大事なことは、協力先や支援先に喜んでいただける事業をすることであり、収入や支出の金額が大きければよいというわけではありません。しかし、活動を安定化するためには一定のコンスタントな収入は必要であり、より内容のある事業を続けていくことで達成していきたいと思えます。

～収入バランスのチェック～

収入比率と推移は以下の通りです。

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	理想①	理想②
会費・寄付収入	32%	29%	29%	20%	21%	40%	40%
委託金・助成金収入	61%	57%	65%	71%	71%	40%	30%
自主事業収入	7%	14%	5%	9%	8%	20%	30%
総収入金額	60,772,944	58,071,310	45,185,158	65,256,983	91,012,431	1 億円	1 億円

- 委託金・補助金・助成金の比率がほぼ昨年並みに推移しています。
 委託金や補助金・助成金は単年度であり、複数年獲得できるのは稀であるため、この収入への依存が NPO にとっては危険なことは周知ではあります。ところが、助成金はそこに新たな住民ニーズがあれば別の案件で採択されるという性格があり、公益活動を戦略的に展開することで、依存した助成金ではなく、戦略的に自力で獲得した資金としての正確を帯び、依存にはなりません。その意識を持ちながら資金調達をしてきました。ただ、収入バランスとしては良いというべきものではなく、なお一層の健全化に取り組む必要があります。
- 会費・寄付金収入が年々、徐々に減少する潮流になっています。
 会費収入の減少傾向は尚も強まっています。また、事務局支援寄付も著しく減少しています。本年度は東日本大震災への支援金寄付にシフトされたり、タイやミャンマーの裨益者が明らかな事業への寄付は堅調なので、寄付総額が減っているわけではありません。会のアピールを高め、新規事業への資金や管理費に投入できる寄付獲得が課題となっています。

特定非営利活動法人地球市民の会
貸借対照表

2012年3月31日現在

単位:円

資産の部			負債の部		
科目	前期残高	当期残高	科目	前期残高	当期残高
現金	174,774	50,824	未払金	1,962,294	15,610,289
普通預金	10,101,509	33,208,143	前受金	0	16,000
郵便貯金	912,517	600,776	預り金	435,177	316,867
郵便振替	571,824	538,979	仮受金	0	5,973
現金預金合計	11,760,624	34,398,722			
未収金	44,772	554,748			
仮払金	51,130	62,329			
ミャンマー未使途資金	6,035,404	1,150,882			
流動資産合計	17,891,930	36,166,681	流動負債合計	2,397,471	15,949,129
			ボーグウ前受金	300,000	84,000
			クーキャオ中前受金	448,400	480,000
			クーキャオ高前受金	162,000	126,000
			シヨダヤ前受金	128,000	224,000
			基金	7,786,262	7,749,846
固定資産合計	0	0	固定負債合計	8,824,662	8,663,846
			負債合計	11,225,133	24,612,975
			正味財産	6,666,797	11,553,706
資産合計	17,891,930	36,166,681	負債・正味財産	17,891,930	36,166,681

5 期 連 続 貸 借 対 照 比 較 表

	平成20年3月31日	平成21年3月31日	平成22年3月31日	平成23年3月31日	平成24年3月31日
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
現金	119,890	130,623	158,867	174,774	50,824
普通預金	11,407,439	9,462,748	6,172,199	10,101,509	33,208,143
郵便貯金	1,969,931	2,713,342	2,582,736	912,517	600,776
郵便振替	485,539	2,974,483	1,331,994	571,824	538,979
現預金計	13,982,799	15,281,196	10,245,796	11,760,624	34,398,722
立替金	6,000	0	0		
短期貸付金	50,000	0	0		
仮払金	0	0	0	51,130	62,329
未収金	167,976	132,297	150,822	44,772	554,748
ミャンマー未使途資金	3,505,591	5,028,275	3,392,814	6,035,404	1,150,882
流動資産計	17,712,366	20,441,768	13,789,432	17,891,930	1,767,959
固定資産合計	0	0	0	0	0
資産の部合計	17,712,366	20,441,768	13,789,432	17,891,930	36,166,681
未払金	206,097	943,394	118,000	1,962,294	15,610,289
未払費用		1,247,960			
前受金	11,000	0			16,000
預り金	198,096	389,636	433,021	435,177	316,867
仮受金	100,000	0	36,000		5,973
事業未実施助成金等	2,897,521	4,856,733	0		
流動負債計	3,412,714	7,437,723	587,021	2,397,471	15,494,129
寄付預り金					
ボーゲウ前受金	240,000	324,000	336,000	303,000	84,000
クーキャオ中前受金	924,000	768,000	646,800	448,400	480,000
クーキャオ高前受金	684,000	522,000	288,000	162,000	126,000
スリランカ前受金	128,000	82,000	48,000	128,000	224,000
基金	7,330,346	7,796,262	7,796,262	7,786,262	7,749,846
固定負債計	9,306,346	9,492,262	9,115,062	8,827,662	8,663,846
負債合計	12,719,060	16,929,985	9,702,083	11,225,133	17,243,692
正味財産	4,993,306	3,511,783	4,087,349	6,666,797	11,553,706
(当期損益)	579,525	-1,481,523	575,566	2,579,448	4,886,909
負債・正味財産合計	17,712,366	20,441,768	13,789,432	17,891,930	36,166,681

特定非営利活動法人地球市民の会

23年度収支決算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

単位:円

【経常収入の部】	22年度決算	23年度予算	23年度決算	【経常支出の部】	22年度決算	23年度予算	23年度決算
会費収入	3,802,500	4,000,000	3,389,000				
国内関連収入	8,310,975	12,000,000	10,846,994	国内事業費	1,500,407	3,400,000	2,848,469
国内事業収入	179,690	0	500,175	物販仕入れ	0	0	40,358
講師派遣事業	778,812	4,000,000	4,297,952	講師派遣事業支出	55,184	1,000,000	272,261
補助金・助成金等収入	1,710,000	0	-646,737	補助金・助成金等支出	630,666	0	0
寄附金収入	611,199	1,500,000	281,425	委託金事業支出	690,413	2,000,000	1,721,839
委託金収入	5,025,000	6,500,000	6,410,000	その他の事業支出	124,144	400,000	814,011
雑収入	6,274	0	4,179				
奨学金関連収入	6,751,919	7,694,000	5,067,700	奨学金事業費	4,700,838	6,694,000	2,638,980
補助金・助成金等収入	400,000	400,000	390,000	奨学金交付	1,982,796	2,094,000	1,709,104
奨学金会費収入	3,872,900	3,574,000	3,709,400	奨学金調査・現地調整費	14,600	900,000	109,000
さとおやツアー	1,521,750	2,660,000	459,000	さとおやツアー	631,590	2,200,000	612,630
チャリティショップ	276,965	500,000	232,870	自立発展事業	2,071,852	1,500,000	208,246
寄付金収入	680,304	560,000	276,430				
ミャンマー関連収入	45,334,300	60,950,000	56,779,455	ミャンマー事業費	34,271,866	51,700,000	46,038,142
自主事業収入	2,623,140	1,000,000	1,389,390	自主事業支出	2,764,729	900,000	1,171,973
スタディツアー	2,623,140	1,000,000	1,335,000	スタディツアー	2,724,040	900,000	1,171,973
チャリモ事業	0	0	1,680	チャリモ	40,689	0	0
その他物販収入	0	0	52,710	寄付金支出	1,539,222	2,500,000	4,646,439
寄附金収入	3,892,324	2,800,000	3,417,828	タンボジ研修センター	125,000	300,000	537,235
タンボジ研修センター	130,166	300,000	555,236	ナウンカ研修センター	0	500,000	0
ナウンカ研修センター	0	100,000	0	インフラ整備事業	0	50,000	1,260,000
循環型農業研修	0	50,000	0	農業支援事業費	-112,346	900,000	990,000
農業支援事業費	1,100,000	1,200,000	0	リーダー育成研修	0	0	804,223
教育支援(学校建設)	2,302,731	1,000,000	580,144	教育支援(学校建設)	1,526,568	750,000	1,054,981
インフラ整備事業	0	0	1,400,000	助成金支出	32,610,505	45,300,000	35,335,208
エコポイント	359,427	150,000	882,448	外務省NGO連携無償	28,736,956	34,000,000	27,692,412
助成金収入	37,821,836	57,150,000	51,972,237	緑の募金	589,500	1,600,000	1,600,993
外務省NGO連携無償	31,522,808	45,000,000	46,438,237	地球環境基金	1,826,199	4,400,000	6,011,353
緑の募金	1,484,000	800,000	1,581,000	JICA委託事業	0	3,500,000	0
地球市民財団	0	2,000,000	950,000	その他の助成金	997,000	1,800,000	0
地球環境基金	4,890,000	4,350,000	3,003,000	その他の事業費	460,850	0	30,450
郵政ポラ貯収入	-74,972	0	0	ミャンマー事業費繰入損	-2,642,590	3,000,000	4,884,522
JICA委託事業	0	5,000,000	0				
その他の事業	997,000	0	0				
韓国関連事業収入	1,057,289	2,650,000	1,978,737	韓国事業費	678,312	2,650,000	1,052,504
自主事業収入	342,682	350,000	210,643				
助成金収入	714,607	2,300,000	1,768,094				
東日本大震災支援事業収入		15,000,000	12,950,545	東日本大震災支援事業費		9,000,000	8,957,789
支援金収入		5,000,000	7,688,140	直接事業費		9,000,000	8,957,789
助成金・補助金		10,000,000	5,262,100				
雑収入			305				
				国内管理費	13,025,518	16,000,000	13,201,863
				人件費	9,754,789	12,500,000	10,460,428
				その他管理費	3,270,729	3,500,000	2,741,435
				奨学金事業管理費	2,274,605	2,450,000	2,472,200
				人件費	1,960,810	2,100,000	2,062,620
				その他管理費	313,795	350,000	409,580
				ミャンマ管理費	6,225,989	8,000,000	6,709,467
				人件費	5,226,919	6,500,000	6,104,869
				その他管理費	999,070	1,500,000	604,598
				東日本大震災支援事業管理費		3,000,000	2,206,108
				人件費		2,200,000	1,801,982
				その他管理費		800,000	404,126
				管理費合計	21,526,112	29,450,000	24,589,638
経常収入合計	65,256,983	102,294,000	91,012,431	経常支出合計	62,677,535	102,894,000	86,125,522
				当期収支差額	2,579,448	-600,000	4,886,909
				繰越収支差額	4,087,349	6,666,797	6,666,797
				次期繰越収支差額	6,666,797	6,066,797	11,553,706

※東日本大震災の会計は、実際は別の会計で管理し、皆様からお預かりした御浄財の収入計は12,950,545円で、実際の支援事業に使いました事業支出計は8,957,789円、外部の事務所家賃や人件費など管理費が2,206,108円を計上し、残高1,786,648円を次年度の支援活動費として繰り越しています。

5期連続収支比較表

事業	項目	H19/4~H20/3 19(2007)年度 第6期	H20/4~H21/3 20(2008)年度 第7期	H21/4~H22/3 21(2009)年度 第8期	H22/4~H23/3 22(2010)年度 第9期	H23/4~H24/3 23(2011)年度 第10期
国内事業	会費収入	5,299,000	3,763,500	4,860,800	3,802,500	3,389,000
	奨学金関係事業	2,841,381	1,657,912			
	国内事業	1,289,155	4,607,049	1,507,595	958,502	4,798,127
	海外派遣事業	210,000				
	補助・助成金収入	728,586	167,280	6,044,958	1,710,000	-646,737
	委託金収入			3,189,000	5,025,000	6,410,000
	寄付金収入	714,497	805,084	326,420	611,199	281,425
	雑収入	25,746	28,551	253,569	6,274	4,179
	【収入計】	11,108,365	11,029,376	16,182,342	12,113,475	14,235,994
	奨学金関係事業	554,497				
	国内事業	476,766	2,753,840	4,653,871	1,500,407	2,848,469
	人件費	8,277,191	8,250,636	8,066,383	9,754,789	10,460,428
	その他管理費	6,125,906	3,860,758	2,297,037	3,270,729	2,741,435
	【支出計】	15,434,360	14,865,234	15,017,291	14,525,925	16,050,332
【収支差額】	-4,325,995	-3,835,858	1,165,051	-2,412,450	-1,814,338	
奨学金事業	奨学金事業	5,451,000	4,619,500	4,669,800	5,671,615	4,401,270
	寄付金収入	2,240		26,351	680,304	276,430
	補助・助成金収入				400,000	390,000
	【収入計】	5,453,240	4,619,500	4,696,151	6,751,919	5,067,700
	奨学金事業費	4,072,490	3,458,629	2,415,218	4,700,838	2,638,980
	人件費	1,362,750	1,160,871	2,243,449	1,960,810	2,062,620
	その他の管理費				313,795	409,580
【支出計】	5,435,240	4,619,500	4,658,667	6,975,443	5,111,180	
【収支差額】	18,000	0	37,484	-223,524	-43,480	
海外事業	自主事業収入		1,517,500	896,040	2,623,140	1,389,390
	委託事業	4,163,801	0			
	外務省他					
	森林復元事業					
	農業支援					
	補助・助成金収入	28,101,002	24,405,328	20,336,080	38,818,836	51,972,237
	寄付金収入	7,846,821	7,858,263	3,074,545	3,892,324	3,417,828
	雑収入	3,921				
	ミャンマー事業資金戻入益	3,505,591	5,028,275			
	ミャンマー事業費戻入益	590,173	2,897,521			
	【収入計】	44,211,309	41,706,887	24,306,665	45,334,300	56,779,455
	自主事業支出		966,541	1,297,999	2,764,729	1,171,973
	JICA委託事業	3,554,048	0	0	0	0
	その他事業費	2,344,687	7,556,581	2,435,366	1,457,850	7,642,796
	農業支援	0	721,349			
	森林復元事業費	2,593,728	489,670	1,827,285	2,415,699	
	外務省委託事業	16,452,488	8,773,609	0	28,736,956	27,692,412
	郵政ポラ貯事業	2,293,650	318,851	8,170,491		
	寄付金事業費	1,683,603	5,280,851	5,956,583	1,539,222	4,646,439
海外教育推進	1,294,863	1,516,795	1,855,545			
人件費	5,008,410	3,653,104	4,762,128	5,226,919	6,104,869	
その他の管理費	566,400	1,859,406	1,849,509	999,070	604,598	
ミャンマー事業費繰入損	2,897,521	4,856,733	-4,856,733	-2,642,590	4,884,522	
ミャンマー事業資金繰入損	634,421	3,505,591	1,635,461			
【支出計】	39,323,819	39,499,081	24,933,634	40,497,855	52,747,609	
【収支差額】	4,887,490	2,207,806	-626,969	4,836,445	4,031,846	
韓国事業	自主事業収入		423,547	0	342,682	210,643
	助成金収入		292,000	0	714,607	1,768,094
	【収入計】	0	715,547	0	1,057,289	1,978,737
	事業支出		569,018	0	678,312	1,052,504
【支出計】	0	569,018	0	678,312	1,052,504	
【収支差額】	0	146,529	0	378,977	926,233	
東日本大震災支援	自主事業収入		0	0	0	0
	補助・助成金収入					7,688,140
	寄付金収入					5,262,100
	雑収入					305
	【収入計】	0	0	0	0	12,950,545
	直接事業費		0	0	0	8,957,789
	人件費					1,801,982
その他の管理費		0	0	0	404,126	
【支出計】	0	0	0	0	11,163,897	
【収支差額】	0	0	0	0	1,786,648	
經常		60,772,914	58,071,310	45,185,158	65,256,983	91,012,431
經常		60,193,419	59,552,833	44,609,592	62,677,535	86,125,522
經常		579,495	-1,481,523	575,566	2,579,448	4,886,909
基金		0	0	0	0	0
繰越		4,413,781	4,993,306	3,511,783	4,087,349	6,666,797
次期		4,993,306	3,511,783	4,087,349	6,666,797	11,553,706

特定非営利活動法人地球市民の会

財産目録

2012年3月31日

【資産の部】

単位:円

【負債の部】

単位:円

【資産の部】		単位:円	【負債の部】		単位:円
普通預金		33,208,143	未払金		15,610,289
佐賀銀行本店営業部 1506171		4,608,038	夢学車両広告代		3,000
佐賀銀行本店営業部 2675887		43,512	社会保険料 2月分		279,927
佐賀銀行本店営業部 3007858		104,694	社会保険料 3月分		285,951
佐賀銀行本店営業部 3018910		4,045,995	印刷機リース料 3月分 (株)リコーリース		16,485
佐賀銀行本店営業部 3029237		24,223,179	PC関連リース料 3月分 ヒタチキャピタル		14,700
佐賀信用金庫本店営業部 1059408		61,059	レンタルサーバー代 2・3月分 (有)プライム		4,200
佐賀共栄銀行 248629		121,666	ミャンマー管理費 給与 3月分		210,000
郵便貯金		600,776	N連タンテ堰事業費 柴田持込資金		11,992,800
17740 4397081		435,449	支援金管理費 複合機・コピー代		2,790
17760 13292771 (ハッピーストック)		165,327	支援金管理費 消耗品費		19,860
郵便振替		538,979	支援金管理費 通信費 切手代		2,400
未収金		554,748	支援金管理費 通信費		1,000
印刷機使用負担金 夢の学校を作る		3,190	支援金管理費 インターネット利用料 3月		22,986
印刷機使用負担金 古賀英語道場		11,266	支援金管理費 法定福利費会社負担分 3月		8,028
印刷機使用負担金 古賀空手道場		35,760	支援金事業費 電話代 3月分		232,507
講師謝金 (株)ライフサポートNEO		20,000	支援金事業費 いのちのまつり		25,516
新かちがらす 韓国ツアー旅費		6,900	支援金事業費 3月旅費		43,785
キャンセル分返金			支援金事業費 だいでんいっしょP		9,970
協働おもしろ大百科 H23年度後期分		40,000	高砂市民活動センターイベント費		30,210
ミャンマーステイツアー旅費キャンセル分返金		74,715	支援金事業費 ハッピーストック		25,000
支援金 国際NGOセンター 3月分		5,973	高砂市民活動センターイベント費		250,000
支援金 だいでんいっしょP		356,944	支援金事業費 3・11イベント		600,000
仮払金		62,329	支援金事業費 テント修繕費		932,440
支援金管理費 事務用品費(アスクル)		19,845	支援金事業費 3・11イベント		403,234
法廷福利費 社会保険会社負担分 2月		21,018	支援金事業費 テーブル・椅子賃借料		193,500
法廷福利費 社会保険会社負担分 3月		21,466	支援金事業費 3・11イベント		84,000
ミャンマー事業 未使用資金		1,150,882	支援金事業費 楽器運搬代		84,000
本部送金分 ドル未使用分		146,272	支援金事業費 佐賀からサポートP		480,000
本部送金分 チャット未使用分		1,004,610	支援金事業費 支援金		306,000
【負債の部】			支援金事業費 佐賀からサポートP		174,000
基金		7,749,846	支援金事業費 あしなが育英金募金		126,000
地球市民基金		873,342	支援金事業費 出番だP		108,000
地球市民特別基金		4,994,547	支援金事業費 出番だP		18,000
地球市民奨学金基金		1,358,064	支援金事業費 東北ツアー旅費		224,000
ミャンマー教育基金		195,828	支援金事業費 出番だP		160,000
ミャンマー竜巻緊急支援		328,065	支援金事業費 東北ツアー経費		64,000
預り金		316,867	支援金事業費 助成金支出		
源泉所得税		59,110	だいでんいっしょP 3.31事業費		
社会保険等		10,706	ボーゲウ前受金		
理事慶弔費		247,051	2012年度分		
			クーキャオ 中学前受金		
			2012年度分		
			2013年度分		
			クーキャオ 高校前受金		
			2012年度分		
			2013年度分		
			スリランカ シンダヤ奨学金 前受金		
			2012年度分		
			2013年度分		

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表
 平成24年3月31日現在

単位:USドル

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	208,933	26,947	前受金	0	1,750
現金預金合計	208,933	26,947	預り金	0	1,270
			仮受金	208,933	191,769
流動資産合計	208,933	26,947	流動負債合計	208,933	194,789
固定資産合計	0		固定負債合計	0	0
			負債合計	208,933	194,789
			正味財産	0	-167,842
資産合計	208,933	26,947	負債・正味財産	208,933	26,947

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)収支計算書
 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

単位:USドル

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	0	事業費	138,181
		NGO連携無償	136,542
		NALAPO	530
		地球環境基金	1,109
		管理費	29,661
		給料手当	25,136
		福利厚生費	195
		旅費交通費	2,841
		通信運搬費	1,489
経常収入合計	0	経常支出合計	167,842
		経常収支差額	-167,842
		繰越収支差額	227
		次期繰越収支差額	-167,615

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット:タウンジー)貸借対照表
 平成23年3月31日現在

単位:チャット

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	2,927,181	702,760	預り金	1,357,650	1,175,350
普通預金	8,526,543	8,671,543	小規模銀行基金	360,000	360,000
現金預金合計	11,453,724	9,374,303	流動負債合計	1,717,650	1,535,350
立替金		50,200	固定負債合計	0	0
短期貸付金	-36,333	-1,448,833	負債合計	1,717,650	1,535,350
仮払金	1,080,000	4,931,000	正味財産	45,805,241	45,696,820
流動資産合計	12,497,391	12,906,670			
保証金	430,500	430,500			
長期貸付金	34,595,000	33,895,000			
固定資産合計	35,025,500	34,325,500			
資産合計	47,522,891	47,232,170	負債・正味財産	47,522,891	47,232,170

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)収支計算書
 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

単位:チャット

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	308,046,905	事業費	291,542,059
タンボジ	17,995,850	タンボジ	17,920,585
ナウンカ	4,951,300	ナウンカ	5,056,250
NGO連携無償	239,496,841	NGO連携無償	238,275,359
その他の事業	5,655,000	ナウンシン	103,300
緑の募金	4,901,200	循環型農業研修	61,500
管理費	21,000,964	緑の募金	4,905,900
GEERCA	13,641,750	その他の事業	5,423,000
エコポイント	404,000	地球環境基金	13,593,215
物販収入	285,500	センター自立	339,950
参加費収入	470,000	ヤンゴン野菜売上	35,250
事業収入	6,466,295	加工品売り上げ	5,783,250
タンボジ	1,713,680	JA事業(第2フェーズ)	44,500
ナウンカ	1,440,000	管理費	24,255,232
オープン事業	381,500	給料手当	13,565,000
GEERCA	77,000	その他の管理費	10,690,232
ヤンゴン野菜売上	25,115		
加工品売り上げ	2,829,000		
寄付金収入	411,170		
雑収入	9,000		
経常収入合計	315,688,870	経常支出合計	315,797,291
		当期収支差額	-108,421
		繰越収支差額	40,517,887
		次期繰越収支差額	40,409,466

ミャンマー事務所USDル
財産目録
 2011年 3月31日現在

単位:USDル

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	26,947
現金 現金手許有高	26,947
流動資産合計	26,947
資産合計	26,947
【負債の部】	
流動負債	
前受金	1,750
ツアー手数料	1,750
預り金	1,270
仮受金	191,769
タンボジ	420
ナウンカ	-5,753
NGO連携無償	89,513
ニンニク銀行	56
ナウンシン入植デモファーム	17,267
御厨基金	117
坂井邦夫基金	82
その他の事業	10,318
緑の募金	12,171
管理費	45,135
地球環境基金	-16,461
センター自立事業	17,460
JA第二フェーズ事業	21,444
流動負債合計	194,789
負債合計	194,789
正味財産	-167,842
負債・正味財産	26,947

ミャンマー事務所ミャンマーチャット
財産目録
 2010年 3月31日現在

単位:チャット


科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	9,374,303
現金 現金手許有高	702,760
普通預金	8,671,543
一般	176,551
特別	8,494,992
立替金	50,200
短期貸付金	-1,448,833
養豚銀行	-1,300,000
ナウンシン農業支援貸付	-148,833
仮払金	4,931,000
タンボジ研修センター	1,480,000
ナウンカ研修センター	881,000
7日間研修	-200,000
地球環境基金	2,770,000
流動資産合計	
固定資産	
その他の固定資産	
保証金	430,500
長期貸付金	33,895,000
養豚銀行	7,975,000
水牛銀行	17,500,000
ニンニク銀行	5,100,000
ナウンシン入植貸付金	1,220,000
その他の固定資産合計	34,325,500
資産合計	47,232,170
【負債の部】	
流動負債	
預り金	1,175,350
小規模銀行基金	360,000
流動負債合計	1,535,350
固定負債	
負債合計	1,535,350
正味財産	45,696,820
負債・正味財産	47,232,170

決算に関する会計報告書

平成24年5月11日、特定非営利活動法人地球市民の会事務局において、定款第47条の規定により監査の結果、平成23年度（自平成23年4月1日～至平成24年3月31日）の会計ならびに決算報告書は適正であることを認めます。

平成24年5月11日

特定非営利活動法人地球市民の会

監事 田中進  (印)

古賀和夫  (印)

事業計画 および予算

2012年4月1日～2013年3月31日

目次

◆活動方針と重点事業	-P24
◆今年度の目標	-P25
◆事業計画	-P26
◆予算案	-P27
◆三カ年計画（抜粋）	-P28

認定 NPO 法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

30周年に向けて会の活動を広めよう

特別支援事業

東日本大震災復興支援事業の継続

重点事業

- ① 【新規国内事業】 中山間地元気再生事業の立案
- ② 【新規海外事業】 ラオス協力事業・中国交流事業
の調査・立案
- ③ 【資金調達・広報】 資金調達委員会の機能強化と
インターネットの活用

事業別重点活動

ミャンマー事業重点事項

- JICA 事業の成果目標を確実に達成する。

タイ事業重点事項

- タイ TPA の設立の検討・準備

スリランカ事業重点事項

- スリランカ交流事業の実施

地球市民の会事業理念

- 1、事業評価を深め、会員の「感動満足度」を高めよう
- 2、会員以外の地域の人々に感動体験・感動情報を提供しよう
- 3、経営の「カイゼン」「組織統治（ガバナンス）向上」に挑戦しよう

平成 24(2012)年度の目標と課題、今後の方向性の提案

◆ 東日本大震災復興支援事業を継続します

被災地の方々から「被災地を忘れないで欲しい」というメッセージを数多く受けました。私たちは、亘理郡山元町、東松島市、仙台宮城野区に定点のカウンターパートを得て、今後も継続的な活動を続けていくことを「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」で確認しました。また、被災地へのスタディツアーや、ボランティアの派遣も実施していきます。被災地の支援先が交流先が変わるまでが活動の期間だと考え、小さくてもこつこつとした支援を続けていきたいと考えています。

◆ 中山間地の元気再生事業を柱に育てていきます。

国際協力 NGO だからこそできる国内事業として、高齢化と人口流出で元気が少しずつ減っていく中山間地の元気を再生する事業を進めていきます。耕作放棄地から資金が生まれるコミュニティビジネスの手法を活用する計画を事業化していきます。綿の栽培、和紙の原料となるコウゾの栽培、オリーブの栽培など、関係各団体と連携を取りながら実施していきます。

◆ ラオス事業を立案します。

昨年度、理事会からラオス事業の調査団をラオス南部に派遣し、事業実施の可能性を検討してきました。現地での教育機会の向上や衛生的な水へのアクセス、衛生的なトイレなどのニーズはありましたので、地球市民の会のできることは何か、成果は挙げられるのか、実施の現実性はどうか、を見極めていき、事業立案に向けて準備を進めていきます。

◆ 中国との国際交流事業の可能性を調査します。

佐賀空港に上海から LCC（格安航空会社）が就航し、中国との交流の門戸が広がりました。1980 年代に韓国との誤解と偏見するために行い一応の成果を見た「カチガラス計画」の中国版を検討しています。中国が大国化するにつれ日本との間には見えないバリアができつつあるのではないかという危惧のもと、地球市民の会の「人間だりでん、いっしょじゃっか！」精神を発揮する出番が訪れたのだと考えています。

◆ 会員の集いを毎年 11 月に実施します。

かつて地球市民の会のお得意だった車座形式の集いを復活させます。5 月の総会のときと 11 月に、会員が集まり交流を深める「会員の集い」を実施します。また、8 月にはスリランカの高校生の招聘事業でも集いを実施します。その際には活動の報告も行いますので、是非ご参集ください。

◆ ソーシャルメディアの活用で広報機能を強化します。

本年度内にホームページをリニューアルさせます。ここ数年そのお話ですが、進んでいない理由は震災支援などにマンパワーをつぎ込んだことが原因です。外部の力をお借りして、何とか実施していきたいと考えています。

◆ 既存の各事業の成すべき優先事業を達成します。

タイ事業は奨学金のあり方を含め、TPA タイの可能性を検証します。ミャンマー事業は本年度始まる JICA 国際協力機構の 3 年間の草の根技術協力事業の初年度で、しっかりした成果が生まれるように準備をします。スリランカ事業は 5 人の高校生を招聘しますので、意義のある交流を実施します。

◆ 資金調達委員会を実施します。

財務構造の健全化を目指し、理事会内に立ち上げられた資金調達委員会を機能化させます。

平成24年度事業計画書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
国内事業		
行政協働事業	通期	佐賀県の新しい公共事業 CSO組織強化、CSOの流布
絵本販売	通期	幸せを売る男の拡販事業
講師派遣事業	通期	学校・各種団体への講師派遣(企業との協働事業)、キャリア教育講師派遣(厚労省)
チャリモ事業	通期	インターネット上のチャリティショッピングモール事業
委託事業	通期	行政からの委託事業の実施(未決定)
奨学金関連事業		
奨学会費	通期	タイ・スリランカの中学・高校生への奨学金支給
チャリティショップ	通期	アジアの子ども達の教育環境改善を目的としたセカンドハンドショップ運営
スタディツアー	通期	奨学金支給地・チャリティーショップ支援地の視察
スリランカ高校生招聘事業	8月	スリランカのシショダヤ奨学金受給者5名の招聘、交流事業
ミャンマー事業		
JICA技術協力草の根パートナー型「循環型共生社会の自立発展」	通期	コミュニティビジネスの手法を使った村落の自立プロジェクト
外務省NGO連携無償 タンテ堰建設事業	6月まで	農業灌漑用堰の整備事業
インレー湖循環化事業	通期	インレー湖流域での15,000本の植林。水草堆肥技術の普及と農産物の共同集荷出荷事業の推進
タンボジセンター運営	通期	貧困農村部の高校生寄宿事業、循環型農業普及事業の拠点運営
ナウンカセンター運営(長期研修)	通期	農業、畜産を中心に機械整備、洋裁、食品加工、会計、販売の研修を行う長期研修と収入向上事業を実施。
ナウンシンデモファーム	通期	貧困層の農民のための入植村の自立サポート事業
農業7日間研修	通期	循環型農業を普及するための研修を年6回修実施
ルエトー村緑化事業、(緑の募金)	6月まで	共同林に1万本、学校林に3千本の植林、給水施設整備、山焼き防止セミナーの実施事業
ハムシー・ナウンシンのパイプ埋設と水タンク建設による生活用水供	通期	水源の整備と、村までのパイプ敷設
学校建設・教育支援事業	通期	ナーリー保育園舎建設、学校建設2校
スタディーツアー	通期	夏ツアー：鹿児島大学、佐賀大学&TPA 秋冬ツアー：TPAプライベートツアー 春ツアー：TPA
JA事業 農業インフラ整備事業実施	通期	農業・畜産のための給水整備4村、共同農園の土着菌堆肥支援15村
小規模植林事業	通期	1万本程度の植林と、給水設備整備(ピンダヤT/S、コンロン地域を予定)
国内地域開発事業		
中山間地元気再生事業	通期	過疎中山間地域の村落開発事業
韓国事業(新カチガラス事業)	8月	韓国人大学生と日本人大学生の交流事業
東日本大震災支援事業		
佐賀からサポートプロジェクト	通期	仙台市宮城野区、亶理郡山元町、東松島市の施設支援
出番だ！プロジェクト	通期	ボランティアの派遣事業
いのちのまつりプロジェクト	通期	被災の子どもと佐賀の子どもの夢をつなげる事業
ハッピーストックプロジェクト	通期	女性の視点で助成を支援する事業
想いのプラットフォームプロジェクト	通期	インターネット、ICTを使った広報事業
被災地スタディーツアー	通期	被災地の視察、被災者との交流、東北観光のツアー

特定非営利活動法人地球市民の会

24年度 予算書

自 平成24年4月1日 至平成25年3月31日

単位:円

【経常収入の部】	23年度予算	23年度決算	24年度予算	【経常支出の部】	23年度予算	23年度決算	24年度予算
会費収入	4,000,000	3,389,000	4,000,000				
国内関連収入	12,000,000	10,846,994	6,800,000	国内事業費	3,400,000	2,848,469	2,100,000
国内事業収入	0	500,175	500,000	物販仕入れ		40,358	100,000
講師派遣事業	4,000,000	4,297,952	2,800,000	講師派遣事業支出	1,000,000	272,261	300,000
補助金・助成金等収入	0	-646,737		補助金・助成金等支出	0		0
寄附金収入	1,500,000	281,425	1,000,000	委託金事業支出	2,000,000	1,721,839	400,000
委託金収入	6,500,000	6,410,000	2,500,000	その他の事業支出	400,000	814,011	1,300,000
雑収入	0	4,179					
奨学金関連収入	7,694,000	5,067,700	6,362,000	奨学金事業費	6,694,000	2,638,980	4,627,500
補助金・助成金等収入	400,000	390,000	1,100,000	奨学金交付	2,094,000	1,709,104	1,640,000
奨学会会費収入	3,574,000	3,709,400	2,722,000	奨学金事務手数			
さとおやツアー	2,660,000	459,000	1,500,000	奨学金調査・現地調整費	900,000	109,000	440,000
チャリティショップ	500,000	232,870	740,000	さとおやツアー	2,200,000	612,630	1,275,000
寄付金収入	560,000	276,430	300,000	自立発展事業	1,500,000	208,246	555,000
				スリランカ招へい事業			717,500
ミャンマー関連収入	60,950,000	56,779,455	28,863,000	ミャンマー事業費	51,700,000	46,038,142	28,758,000
自主事業収入	1,000,000	1,389,390	1,500,000	自主事業支出	900,000	1,171,973	1,275,000
スタディツアー	1,000,000	1,335,000	1,500,000	スタディツアー	900,000	1,171,973	1,275,000
チャリモ事業	0	1,680		チャリモ			
その他物販収入	0	52,710		寄付金支出	2,500,000	4,646,439	3,200,000
寄附金収入	2,800,000	3,417,828	3,500,000	タンボジ研修センター	300,000	537,235	500,000
タンボジ研修センター	300,000	555,236	500,000	ナウンカ研修センター	500,000		
ナウンカ研修センター	100,000	0		インフラ整備事業	50,000	1,260,000	
循環型農業研修	50,000	0		農業支援事業費	900,000	990,000	900,000
農業支援事業費	1,200,000	0	1,000,000	リーダー育成研修		804,223	
チャウタロン	0	0		教育支援(学校建設)	750,000	1,054,981	1,800,000
教育支援(学校建設)	1,000,000	580,144	2,000,000	助成金支出	45,300,000	35,335,208	26,283,000
インフラ整備事業	0	1,400,000		外務省NGO連携無償	34,000,000	27,692,412	12,000,000
エコポイント	150,000	882,448		緑の募金	1,600,000	1,600,993	1,500,000
助成金収入	57,150,000	51,972,237	23,863,000	地球環境基金	4,400,000	6,011,353	3,400,000
外務省NGO連携無償	45,000,000	46,438,237		JICA委託事業	3,500,000	0	7,330,000
緑の募金	800,000	1,581,000	1,500,000	その他の助成金	1,800,000	0	2,053,000
地球市民財団	2,000,000	950,000		その他の事業費		30,450	
地球環境基金	4,350,000	3,003,000	5,150,000	ミャンマー事業費繰入損	3,000,000	4,884,522	-2,000,000
郵政ボラ貯収入	0	0	2,053,000				
JICA委託事業	5,000,000	0	15,160,000				
その他の事業	0	0	0				
国内地域開発事業	2,650,000	1,978,737	9,920,000	国内地域開発事業費	2,650,000	1,052,504	6,800,000
中山間地元気再生事業			9,000,000	中山間地元気再生事業費			6,000,000
自主事業収入			3,000,000	韓国事業費	2,650,000	1,052,504	800,000
助成金収入			6,000,000				
韓国関連事業収入	2,650,000	1,978,737	920,000				
自主事業収入	350,000	210,643	220,000				
助成金収入	2,300,000	1,768,094	700,000				
東日本大震災支援事業収入	15,000,000	12,950,545	13,100,000	東日本大震災支援事業費	9,000,000	8,957,789	11,692,000
支援金収入	5,000,000	7,688,140	4,000,000	直接事業費	9,000,000	8,957,789	11,692,000
助成金・補助金	10,000,000	5,262,100	9,100,000				
雑収入		305					
				事業費計	73,444,000	61,535,884	53,977,500
				国内管理費	16,000,000	13,201,863	10,100,000
				人件費	12,500,000	10,460,428	8,000,000
				その他管理費	3,500,000	2,741,435	2,100,000
				奨学金事業管理費	2,450,000	2,472,200	2,500,000
				人件費	2,100,000	2,062,620	2,100,000
				その他管理費	350,000	409,580	400,000
				ミャンマー管理費	8,000,000	6,709,467	6,748,000
				人件費	6,500,000	6,104,869	6,148,000
				その他管理費	1,500,000	604,598	600,000
				国内地域開発管理費			3,100,000
				人件費			2,500,000
				その他管理費			600,000
				東日本大震災支援事業管理費	3,000,000	2,206,108	3,120,000
				人件費	2,200,000	1,801,982	2,400,000
				その他管理費	800,000	404,126	720,000
				管理費計	29,450,000	24,589,638	25,568,000
経常収入合計	102,294,000	91,012,431	69,045,000	経常支出合計	100,244,000	86,125,522	79,545,500
				当期収支差額	2,050,000	4,886,909	-10,500,500
				繰越収支差額	6,666,797	6,666,797	11,553,706
				次期繰越収支差額	8,716,797	11,553,706	1,053,206

特定非営利活動法人 地球市民の会 3カ年計画(中期経営計画)

2010年4月策定

- 地球市民の会の目的 地球市民運動を通じて、世界の平和と親善に貢献し、あわせて地域社会の向上発展に寄与すること(定款第2条)
- 地球市民運動とは 人・社会・自然の相互依存を十分に認識し、全てのいのちを慈しみ、強く・優しく・豊かに・美しく育てる
- 地球市民の会とは 地球市民運動(足もとを見直すことで平和で幸せな社会を作ろうとする運動)を通して地球維新(設立趣意書より)を実現する団体
- 地球市民の会の活動指針
- ① 地球市民運動を通し、経済的豊かさよりも心の豊かさを伝えることで、平和で幸福な社会へ変革させていく。
 - ② 感動と気付き(目覚め)にて全人的成長(設立趣意書)をし、社会を変える人をつくる(育てる)
 - ③ 社会を変革する組織として存在し続ける責務を持ち、安定的自立経営を目指す。

プロジェクト名	3カ年の結果目標	3カ年の成果
ミャンマー事業	循環型農業がターゲットエリアで30%実施する お茶プロジェクト開始 インレー湖循環化事業の日本からの支援終了 タンポジセンターのハンドオーバーが実現する ナウンカセンターのハンドオーバーが実現する ナウンシンデモファームの自立の見込みが立つ 外務省N連事業提案 学校5校建設・ナーリー村支援開始 スタディーツアー実施 JA事業新規給水P実施	持続型自立発展事業が軌道に乗り、協力事業から交流事業へと発展する。
タイ事業	・自立発展型教育支援事業が新規プロジェクト立案ができるようになる ・奨学金の新規受給者が2015年にゼロとなる ・教育基金に対する理解が深まる ・自前のチャリティショップが運営できる準備が整う ・ボランティアが恒常的に参加できる事業が続いている。	タイ国内の経済的格差に対する循環型共生社会による自立発展型事業での自立の道筋を日本国内での活動とリンクして広く伝える。
スリランカ事業	フェーズ1に成果の予兆が見え、フェーズ2の立案準備が始まる	貧困地域が自然エネルギーによる発電事業を通して循環型共生社会へと変化していく。
ラオス事業	ラオス循環型共生社会創造事業が始まった。	循環型共生社会の創造による開発のモデルとなり、国内の農事業や地球共感教育事業と連動し国内で学び時月を得ることができる
ブータン事業	ブータン事業が申請されている	
村プロジェクト	当事業で雇用が確保できるようになっている。 韓国との事業が成り立つようになる	循環型共生社会の創造の国内モデルが地域の人々の間で出来上がりつつある。 TPA事業に直接的・間接的に関わった人に地球市民としての意識をもつ人が増加する
自分自給率向上事業	自分自給率が一般名詞化し運動となる兆しがある。	都市型の循環型共生社会のモデルの提示ができる。
農事業	・循環型農業研修センター、エコツーリズム事業が継続実施されている	農の視点から循環型共生社会を伝え、広めていくことができるようになる。
地球共感教育事業	セミナー、シンポジウム、講師派遣、プログラム受注で一人雇用できる状態になる	地球共感教育を体験した人が増える
企業・行政 協働事業	委託、共同事業等で一人雇用できる状態になる	当会の内的資源を用いて循環型共生社会と行政課題や企業のCSRを一致させた事業が成立する。
地域開発・地域づくりセンター事業	センターで事業が実施できる状態となっている。	道州制を基本とした地域づくりのなかで九州の社会変革の核となり、国内で重要な影響を及ぼす組織となる。
資金調達 ファンドレイジング	国内スタッフ8名、海外スタッフ6名の体制が維持できるようになる。	2013年の予算を1億円とし、収入比率を会費・寄付・助成委託：自主事業＝3：4：3、国外国内比率を60：40にする。
ミャンマー・チャリモ事業	25社で1000万円の寄付が見込める事業へ拡大できる状態となっている	チャリティとしてや、目的・意義を意識しながら継続的な購入をする消費者が増える
会員サービス事業	毎月、何等かの会員の集まれる場所を提供する	当会の会員であることに喜びを感じてもらえるようになる。
広報出版事業	毎月、何等かの会員に対する情報のリリースが実施される。	当会の「今」の内容がいつでも誰でも解るようになっている。

特定非営利活動法人地球市民の会 平成24年度役員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
永久名誉会長	古賀 武夫		
名誉会長	古川 康	佐賀県	知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市	市長
顧問	伊藤 榮彦	京都科学カフェ	代表
顧問	井戸 敏三	兵庫県	知事
顧問	稲田 繁生	伊万里学園・敬徳高校	理事長
顧問	今村 雅弘	衆議院	議員
顧問	井本 勇	佐賀清和学園	理事長
顧問	村山 仁志	佐賀県国際交流課	課長
顧問	大草 秀幸		
顧問	大串 博志	衆議院	議員
顧問	片渕 義孝	佐賀市国際交流室	国際交流室長
顧問	川崎 稔	参議院	議員
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘	代表取締役
顧問	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)	代表取締役社長
顧問	小山 高生	脚本家/大阪芸術大学	教授
顧問	坂井 学		
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯	社長
顧問	三遊亭歌之介	落語家	
顧問	上甲 晃	志ネットワーク	代表
顧問	豊田 泰光	野球評論家	
顧問	中尾 清一郎	(株)佐賀新聞社	代表取締役社長
顧問	佛淵 孝夫	国立大学法人佐賀大学	学長
顧問	原口 一博	衆議院	議員
顧問	平湯 慎介	平湯コホレーション	代表取締役社長
顧問	福岡 資麿	参議院	議員
顧問	古川 弘典	三重県・御浜町	町長
顧問	保利 耕輔	衆議院	議員
顧問	マリ クリスティーナ	有限会社 エムキューブインターナショナル	
評議員	有岡 大介	(株)サガテレビ	主任
評議員	弥富 雅信	鶴田病院	理学療法士
評議員	大島 隆	和食処おおしま	代表取締役
評議員	副島 正幸	潮音寺	住職
評議員	田島 広一	田島興産株式会社	代表取締役
評議員	富吉 賢太郎	佐賀新聞社	編集局長
評議員	橋村 エリザベス		
評議員	原 康彦	佐賀県議会	議員
評議員	平野 喜幸	蓮華院誕生寺	れんげ農苑農苑長
評議員	深川 千幹	佐賀市立思斉館 中学部	
評議員	藤 雅仁	株式会社七浦 / 道の駅鹿島	統括部長／事務局長
評議員	前田 英彦	長崎県松浦市役所 税務課	
評議員	丸田 祐子	七賢人の里 おへそ保育園	保育士主任
評議員	満岡 聡	満岡内科消化器科医院	院長
評議員	峰 悦男	峰公認会計士事務所	代表
評議員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター	代表取締役社長
評議員	百生 詩緒子	独立行政法人 国際協力機構	専門家(タイ)

特定非営利活動法人地球市民の会 平成24年度役員

会長	佐藤 昭二	一般社団法人 ふる里再生協会	専務理事
副会長	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
副会長	山口 久臣	一般社団法人 アイ・オー・イー	代表理事
副会長	草場 一壽	今心工房	陶彩画家

理事 50音順

理事長	山下 雄司	(株)カブプリティク	専務取締役
専務理事	大野 博之	特定非営利活動法人地球市民の会	事務局長
理事	青柳 達也	古賀英語道場	代表
理事	稲富 正人	佐賀県自治修習所	所長
理事	古賀 大之	和道流古賀空手道場	代表
理事	小松 敏正	小松商店 金属部	専務
理事(兼任)	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗	代表
理事	成尾 雅貴	熊本県庁 くまもとブランド推進課	
理事	西村 一守	Produce Office Nishimura PON	代表
理事	西村 尚子	西村歯科医院	
理事	増田 誠司	(株)増屋	代表取締役
理事	八田 康博	(有)八田工作所	代表取締役
理事(兼任)	山口 久臣	一般社団法人 アイ・オー・イー	代表理事

監事	田中 進	(株)佐賀電算センター	代表取締役会長
監事	古賀 和夫	有限会社 ニューポーン新古賀	代表取締役

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。
専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、
また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断します。
総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行いません。
理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

地球市民の会 28 年の歴史

- 1973 年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980 年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983年 「地球市民の会」設立
- 1986年 第 1 回小さな地球計画開始
- 1987年 日タイ協力事業開始
- 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990 年 地球市民奨学金開始
- 1992 年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995 年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002 年 NPO 法人格取得
- 2003年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009 年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
- 2009年 佐賀市中山間地元気再生事業開始
- 2010年 国税庁より認定 NPO として認定
- 2011年 ASC2008 認証
- 2011 年 東日本大震災復興支援事業開始



ベジボイス★ともろこし収穫

地球市民の会 主な褒章

- 1988 年 サントリー地域文化賞
- 1989 年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994 年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996 年 自治大臣表彰
- 1996 年 厚生大臣感謝状
- 2000年 外務大臣表彰
- 2003年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006年 地球倫理推進賞
- 2006 年 文部科学大臣奨励賞



さが国際ふれあいフェスタ★民族衣装体験

地球市民の会組織図 2012年度

